

在留邦人・たびレジ登録者の皆様へ

海外安全情報（広域情報）の発出及び当地安全対策と注意喚起について

平成28年7月4日

在イスラエル日本国大使館

1 今般、7月1日（現地時間）、バングラデシュの首都ダッカ市内のレストランを数名の武装グループが人質をとって籠城する事件が発生、邦人7名を含む約20名が死亡、邦人1名を含む多数が負傷した惨事を受け、広域情報が発出されました。

詳細につきましては、以下海外安全ホームページをご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C178>

2 当地治安情勢についても、昨年10月以降の当地治安情勢については、発生件数は減少し、現在小康状態にはあるものの、ヨルダン川西岸地区、イスラエル国内を問わず引き続き緊張状態にあります。いわゆる「巻き込まれ」の危険性を含め予断を許さない状況が依然として続いております。

3 最近発生した事件としては、30日朝、西岸地区入植地でイスラエル人宅にパレスチナ人少年が押し入り、イスラエル人少女が刺殺、犯人は駆け付けた警備員に射殺される事件が発生、同日夕刻、ネタニア市（テルアビブ北隣接）においてイスラエル人2名が刺傷、パレスチナ人犯人はその場で射殺される事件が発生しました。更に翌1日には、西岸地区入植地でイスラエル人が運転する車両が銃撃を受け、1名が死亡した旨報じられました。

4 また、5月29日、イスラエル治安当局は、ハマス・セル数人を、4月18日に発生したエルサレムにおけるバス爆発事件の容疑者として逮捕した旨発表した他、その後、車両爆破や銃撃事案を計画していた別のハマス・セルのメンバーらが逮捕されております。

5 以上より、今後も当面の間、当地治安が不安定な状況になることが十分考えられますので、海外安全情報（外務省海外安全ホームページ参照）に従って、ガザ地区及び同地域との境界周辺を始め、レベル3（渡航中止勧告）の地域には立ち入らないとともに、その他の地域を訪れる場合にも、当地の報道や在イスラエル日本国大使館のホームページ等で最新の情報を入手し、人が多く集まる場所は極力控え、不審人物には近づかない、テロの標的となりやすい路線バス、シェルト（乗り合いバス）の利用は極力避けて下さい。また、投石やテロ事案が発生しているエル

サレム旧市街の「神殿の丘」やダマスカス門、ライオン門等付近には近づかない等、安全対策には最大限の注意を払ってください。

以上